



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)金箱 聡 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	29,072	3.5	2,014	66.5	2,054	61.8	874	40.4
25年12月期第3四半期	28,084	0.5	1,209	△2.5	1,269	0.9	622	46.7

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 911百万円(△1.0%) 25年12月期第3四半期 920百万円(58.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	44.94	—
25年12月期第3四半期	32.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	45,608	33,035	63.3
25年12月期	45,559	32,364	61.9

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 28,886百万円 25年12月期 28,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	4.0	2,300	21.3	2,340	15.2	950	△3.4	48.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期3Q	20,763,600株	25年12月期	20,763,600株
26年12月期3Q	1,301,828株	25年12月期	1,301,384株
26年12月期3Q	19,461,986株	25年12月期3Q	19,462,724株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により、雇用・所得環境の改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や円安による原材料や原油価格の高騰など、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税の拡充等により、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の緩和が期待されましたが、新設住宅着工戸数は前年比減少傾向にて推移しており、当社を取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、製品の付加価値を高める開発を進めるとともに、営業提案力を強化し、受注拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客要求に沿った製品を積極的に提案するとともに、顧客拡大を目指して営業活動に力を入れてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,072百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は2,014百万円（前年同期比66.5%増）、経常利益は2,054百万円（前年同期比61.8%増）、四半期純利益は874百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」において、ブラインドの基本性能「採光・遮蔽」に加え、「上部採光」「下部採光」と3つのスタイルへの切り替えが出来る「スリーウェイ」を発売したほか、ロールスクリーン「ラルク」、タテ型ブラインド「ラインドレープ」において、毎日が楽しくなる多彩なデザイン生地や質感豊かなプレーン生地を新たに発売すると同時に新販促物「ファブリックシーズンブック -ファン・エブリデイ-」を展開し、市場拡大に取り組んでまいりました。また、全国30都市において「Next-より快適な居住空間へ」をテーマとした新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に努めてまいりました。

さらに、小さいお子様がいらっしゃるご家庭や施設でも安心してご使用いただけるカーテンアクセサリーの房掛・タッセル(第8回キッズデザイン賞受賞)等、新たなチャイルドセーフティ部品を発売し、顧客満足度の向上と製品の安全対策にも取り組んでまいりました。

以上により、売上高は25,291百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,873百万円（前年同期比70.2%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

継続した営業力強化と目標案件の先行管理により、主力製品であるパズルタワーの新規完工は計画を上回りましたが、厳しい受注環境の中、改造・改修工事等が伸び悩み、売上高は1,445百万円（前年同期比3.5%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減に努めましたが、材料費及び外注費の高騰を補えず、37百万円の損失（前年同期は56百万円の利益）となりました。

[減速機関連事業]

首都圏で開催された展示会に出展するなど、顧客ニーズの把握や製品認知度の向上に努め、積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は2,336百万円（前年同期比13.2%増）となりました。営業利益につきましては、売上高増加に加え、原価低減に努めたことにより、178百万円（前年同期比238.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は45,608百万円で、前連結会計年度末と比較し48百万円の増加となりました。

（資産）

流動資産は28,160百万円で、前連結会計年度末と比較し248百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,448百万円で、前連結会計年度末と比較し199百万円の減少となりました。これは主に、減価償却等による有形固定資産の減少によるものであります。

（負債）

負債は12,572百万円で、前連結会計年度末と比較し622百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、支払手形及び買掛金、未払金および退職給付引当金が減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は33,035百万円で、前連結会計年度末と比較し671百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は63.3%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、景気の回復基調が続くことが期待されますが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発を図るとともに、効果的な販促活動を行い、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成26年9月24日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,025,802	9,136,068
受取手形及び売掛金	12,842,850	12,778,684
商品及び製品	635,290	548,284
仕掛品	1,190,867	1,270,627
未成工事支出金	67,082	70,315
原材料及び貯蔵品	2,956,690	3,293,119
その他	1,203,405	1,072,815
貸倒引当金	△10,139	△9,330
流動資産合計	27,911,849	28,160,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,652,581	12,658,642
減価償却累計額	△7,978,675	△8,194,615
建物及び構築物(純額)	4,673,905	4,464,026
土地	7,273,085	7,322,797
その他	14,376,116	14,587,667
減価償却累計額	△12,953,756	△13,250,100
その他(純額)	1,422,360	1,337,566
有形固定資産合計	13,369,352	13,124,391
無形固定資産	523,688	483,082
投資その他の資産		
投資有価証券	1,953,425	1,941,852
その他	1,860,157	1,956,631
貸倒引当金	△58,648	△57,858
投資その他の資産合計	3,754,934	3,840,625
固定資産合計	17,647,975	17,448,098
資産合計	45,559,825	45,608,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,824,183	6,142,793
未払法人税等	498,862	533,414
賞与引当金	186,358	606,567
役員賞与引当金	53,940	40,236
製品保証引当金	22,493	46,001
その他	2,171,801	1,656,494
流動負債合計	9,757,639	9,025,506
固定負債		
退職給付引当金	2,916,535	2,705,363
役員退職慰労引当金	305,835	332,533
厚生年金基金解散損失引当金	-	353,500
その他	215,583	156,004
固定負債合計	3,437,954	3,547,401
負債合計	13,195,594	12,572,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	19,639,199	20,319,179
自己株式	△666,599	△666,856
株主資本合計	27,842,600	28,522,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,649	306,760
繰延ヘッジ損益	4,481	3,125
為替換算調整勘定	51,019	54,065
その他の包括利益累計額合計	374,150	363,951
少数株主持分	4,147,479	4,149,502
純資産合計	32,364,231	33,035,776
負債純資産合計	45,559,825	45,608,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	28,084,569	29,072,479
売上原価	16,454,906	16,665,906
売上総利益	11,629,663	12,406,572
販売費及び一般管理費	10,419,736	10,391,741
営業利益	1,209,926	2,014,831
営業外収益		
受取利息	2,428	2,667
受取配当金	25,109	27,089
不動産賃貸料	23,135	28,203
為替差益	35,776	14,790
その他	58,093	49,272
営業外収益合計	144,542	122,023
営業外費用		
支払利息	19	34
手形売却損	18,839	11,567
売上割引	56,617	60,347
その他	9,247	10,182
営業外費用合計	84,723	82,132
経常利益	1,269,745	2,054,722
特別利益		
固定資産売却益	248	339
特別利益合計	248	339
特別損失		
固定資産除売却損	4,524	4,873
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	353,500
特別損失合計	4,524	358,374
税金等調整前四半期純利益	1,265,469	1,696,687
法人税、住民税及び事業税	670,237	921,623
法人税等調整額	△66,438	△142,480
法人税等合計	603,798	779,143
少数株主損益調整前四半期純利益	661,670	917,544
少数株主利益	38,747	42,944
四半期純利益	622,922	874,600

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	661,670	917,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226,836	△7,655
繰延ヘッジ損益	△2,363	△1,355
為替換算調整勘定	34,841	3,045
その他の包括利益合計	259,313	△5,965
四半期包括利益	920,984	911,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	868,234	864,400
少数株主に係る四半期包括利益	52,749	47,178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,523,135	1,497,718	2,063,715	28,084,569	—	28,084,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	33,960	33,960	△33,960	—
計	24,523,135	1,497,718	2,097,676	28,118,530	△33,960	28,084,569
セグメント利益	1,100,711	56,371	52,842	1,209,926	—	1,209,926

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,291,075	1,445,305	2,336,097	29,072,479	—	29,072,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	38,539	38,539	△38,539	—
計	25,291,075	1,445,305	2,374,637	29,111,018	△38,539	29,072,479
セグメント利益又は損失(△)	1,873,308	△37,076	178,599	2,014,831	—	2,014,831

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。